

## 内容評価細目の第三者評価結果 【障害者・児福祉サービス版】

### A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
1	A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a (b) c
<コメント> 支援会議、定期的なモニタリングにより、個別に支援するための検討を行っている。グループでの作業か個人作業のどちらを希望するか等個別に聞き取り、身体能力や精神面の特徴、人間関係の悩みなどを勘案して、丁寧に声をかけながら取り組んでいる。		
A-1-(2) 権利擁護		
2	A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	(a) b・c
<コメント> 虐待防止についての職員研修を年に数回実施し、虐待防止委員会を立ち上げる等、組織的に取り組んでいる。苦情解決相談窓口を設置している。		

### A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
3	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a (b) c
<コメント> 利用者の作業効率など現場での状況をきめ細かく把握するように努めている。段階的に仕事の内容を変えたり、相談支援に同行し、自立・自律生活に向けて支援している。他の福祉サービスが必要な利用者には、同行するなど利用者には随時対応している。		
4	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	(a) b・c
<コメント> 利用者の体調や家族関係など、それぞれの状況を個別に把握し、必要に応じて相談支援事業所と連携し会議を開き検討している。利用者によっては自分の気持ちを文章化(コラム法)し、気持ちを整理してもらうなど、様々なコミュニケーション方法を試みている。		
5	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	(a) b・c
<コメント> 利用者が職員に悩みや相談したいことや、話したいことを話せるよう職員は利用者と向き合い、いつでもどこでも積極的に支援している。担当以外の職員・他事業所の職員も相談に応じており、利用者は仕事等の不安も改善され良い方向に繋げており支援計画等にも反映している。		
6	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	非該当
<コメント>		
7	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	(a) b・c
<コメント> 利用者の障害の特性を研修等で理解し、適切な支援を行っている。本人・家族等・相談員・訪問介護員と担当者会議を密に開催して情報の共有を図り、医療機関との連携も行い協力体制を築いている。		
A-2-(2) 日常的な生活支援		
8	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a (b) c
<コメント> 食事の支援は、同じグループ内事業所で調理され栄養バランスの取れた食事を安価で提供するほか、持参の弁当での食事など選択できるようになっている。事業所から就労施設への移動支援は障がいの状況に配慮して、安心・安全に送迎等を実施している。		

## 内容評価細目の第三者評価結果 【障害者・児福祉サービス版】

A-2-(3) 生活環境		
9	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a b c
<コメント> 畳敷きの休憩室は休息や利用者の疲れをいやす場として、個別の相談室では悩みや相談がいつでも出来るようにしている。事業所内は明るく清掃も行き届き清潔で、空気清浄機・加湿器を使用し温・湿度管理を行い快適な生活環境で過ごせるよう配慮している。		
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
10	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	非該当
<コメント>		
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
11	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a b c
<コメント> 毎日送迎や自分で事業所に来所した際、健康状態の把握や体温チェック等の健康管理を行っている。体調変化時はグループ内常勤看護師といつでも連絡が取れ、担当医と連携を図り相談できる体制を構築している。健康増進や維持のための体カトレーニンググッズを配置して、自由に使えるよう配慮している。		
12	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	非該当
<コメント>		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
13	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	非該当
<コメント>		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
14	A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a b c
<コメント> ほとんどの利用者が地域で一人暮らししており、仕事が終われば買い物をして帰るなど自由にしている。仕事にこない場合は連絡を取り許可を得てから訪問し、身体状況等の確認を行うなどし、就労を促している。普段は地域の中での暮らしを見守る姿勢を取っている。		
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
15	A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a b c
<コメント> 一人で生活している利用者が多く、家族と疎遠な方もおり普段は家族等とは緊急的なこと以外はそれほど連絡をとることがない。特別支援学校卒業間もない利用者は体調不良時など家族から相談を受け連携を図っている。		

## 内容評価細目の第三者評価結果 【障害者・児福祉サービス版】

### A-3 発達支援

		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
16	A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	評価外
<コメント> 		

### A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
17	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a (b) c
<コメント> 利用者それぞれの障害に配慮した個別支援計画を作成し、働くことが楽しいと思えるよう支援している。タイムカード入力、朝の朝礼やラジオ体操、今日一日の仕事内容確認等、一人ひとりが仕事へ向きあう体制を整えて働くために必要なマナーの習得に努め利用者の意欲が感じられる。		
18	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a (b) c
<コメント> 利用者は自家用車や公共交通機関、または事業所の送迎で通勤している。就労内容は高齢者施設の清掃・洗濯部門、調理部門、圃場を借りて行っている農業部門がありローテーションして様々な経験を積み技術の向上を目指している。農福連携による季節的な仕事としてさくらんぼ農家の手伝いや雪かき、除草などがあり、また車椅子の方一名はパソコンで伝票づくりをするなど利用者の障害に配慮した就労支援を行っている。		
19	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a (b) c
<コメント> ハローワークや障害者職業センターとは定期的に研修を通して情報の提供を受けている。昨年一般就労した方が一名いるが、その他なかなか就職に繋がる方が少ない。利用者の一般就労に対する不安を和らげて落ち着いた環境で仕事ができるよう地域の企業と連携した職場開拓に期待したい。		